

里中満智子プロフィール



マンガ家 1948年1月24日大阪市生まれ
1964年 16歳の時に「ピアの肖像」で第1回講談社新人漫画賞を受賞、プロデビュー
1974年「あした輝く」「姫がいく！」の両作品で講談社出版文化賞受賞
1982年「狩人の星座」講談社漫画賞受賞
2006年に全作品及び文化活動に対し文部科学大臣賞受賞
2010年文化庁長官表彰受賞
2013年『マンガ古典文学／古事記』古事記出版大賞太安万侶賞受賞
2014年外務大臣表彰受賞
2018年文化庁創立50周年記念表彰受賞
2023年文化功労者



500タイトル以上の作品を描き 2026年は画業62年となる。
代表作に「アリエスの乙女たち」「あかね雲」「海のオーロラ」「あすなろ坂」「天上の虹」「女帝の手記」「アトンの娘」「マンガギリシャ神話」など。
1998年刊行の「女帝の手記」は、阿倍内親王(孝謙・称徳天皇)を主人公に描いた作品。阿倍内親王は高麗福信が生涯を通して仕えた天皇です。



称徳天皇
©里中満智子

大阪芸術大学教授キャラクター造形学科学科長／(公社)日本漫画家協会理事／(一社)マンガジャパン代表理事／NPOアジアマンガサミット運営本部代表／デジタルマンガ協会会長／外務省日本国際漫画賞審査委員長／朝日新聞社手塚治虫文化賞選考委員／文化庁日本遺産評価委員／文化庁古都壁画の保存活用に関する検討委員／(公財)古都飛鳥保存財団理事／(公財)CGアーツ協会理事／(公財)一ツ橋総合財団理事／BPO評議委員／京都国際漫画ミュージアム運営委員／なせたかし文化賞選定委員長など他。

里中満智子さんからのメッセージ

高麗福信様は奈良時代に天皇のそば近くに仕え激動の時代を生き抜いて長寿を全うされました。波乱に満ちた人生だったと思われるのに歴史の記録上は静かな存在で、それゆえに目立たない人生と思われるがちです。歴史上の人物について私たちが興味を持つきっかけは、物語によって語られる生き方に感動するからではないでしょうか？福信様ご自身は実は激動の物語を背負っているはず。まだ語られていない物語を一緒に想像してみたいと思います。

解説：高麗福信と武蔵国

日本高麗浪漫学会副会長 荒井秀規

和銅二年(709)武蔵国に生まれた高麗福信は、少年期に奈良の都に上り、相撲が強かったことを切っ掛けにして立身出世、延暦八年(789)に従三位の高位を以て没しました。ほぼ奈良時代(710~794)を生き抜いたと言えます。奈良の都は、小野老の「あをによし奈良の都は咲く花の薫ひがごとく今盛りなり」の万葉歌や東大寺大仏など天平文化に象徴される華やかな明るいイメージがありますが、同時に長屋王の変、橘奈良麻呂の変、藤原仲麻呂の乱、僧道鏡の台頭・没落など、相次ぐ政争の舞台でもありました。多くの王公貴族が浮き沈みするなか、福信は六代五人の天皇の側で重きをなし、八十一歳の長寿を全うしています。その一方で福信は武蔵国の守を三回兼官(京官と兼任)し、その間には子息の石麻呂も武蔵介になっています。福信の身は都にありましたが、地元一族と連携して、武蔵国分寺の造営や新羅郡の建郡(752)、そして武蔵国の東山道から東海道への編入(771)など、出身地武蔵の大きな出来事に参与しています。

マスコット福信くん
©里中満智子



会場までの交通案内

日高市文化体育館 ひだかアリーナ

〒350-1206 埼玉県日高市大字南平沢1010

徒歩 JR高麗川駅より約20分(タクシーで約5分)

車 県道川越日高線市役所入口交差点より約3分

駐車場 日高市文化体育館または日高市役所のPへ

(注 駐車場は限りがありますので、なるべく公共交通機関をご利用ください。)

問合せ先 日高市市民生活部・産業振興課 電話 042-989-2111(代)
高麗1300 電話 042-978-7432